

団体名	一般社団法人 環びわ湖大学・地域コンソーシアム						
事業名	地域連携PBL型外国人留学生プログラム（フィールド：滋賀県甲賀市）						
実施期間	2024年11月16日・17日						
場 所	立命館大学・甲賀市内（貴生川駅周辺、信楽町、みなくるプラザなど）						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	26	8	3	9	3	1	50名

<実施内容>

1日目は、甲賀市に関する講義が行われました。甲賀市市役所の方々にご協力いただき、市民活動推進課から多文化共生の重要性について、立命館大学の阿部俊彦准教授から貴生川駅周辺特区構想について、商工労政課から信楽焼の歴史と技術についての講義がありました。続いて、2日目の内容説明とグループワークが行われ、調査の方向性を決定しました。

2日目は、貴生川特区構想のフィールドワークから始まり、ふれあいマーケットに参加し、貴生川駅周辺を散策しました。その後、信楽高原鉄道で信楽駅に移動し、みはる窯を訪問、信楽窯元を見学しました。みなくるプラザでは地域住民や外国人住民と交流し、最後に地域課題解決のためのグループワークを行い、各グループが提案を発表しました。提案内容には、SNSを使った甲賀市の魅力発信、外国人観光客向けの旅行パッケージ、地域イベントの開催、オンラインクラフトショップやエコフレンドリーな観光などが含まれ、市役所や国際交流協会の関心を引きました。

このプログラムを通じて、甲賀市の現状や課題を理解し、地域と学生の交流の場を持つことの重要性が確認されました。学生たちは今後も甲賀市のボランティアや交流イベントに参加したいと考えており、地域との新たな理解を深める機会を提供していきたいとしています。

<記録写真>



1日目の講義の様子



2日目の信楽駅での集合写真



写真3の説明

<参加者からのコメント>

匿名さん

This is a very meaningful program which introduced the unique of Koka city and the problem which the city facing now. I glad to know the organization is considering the problem of foreign facing in Japan.

匿名さん

信楽焼の作り方を理解できるだけでなく、甲賀市の方・団体と今のあるさまざまな問題について意見交換したり、発表したりすることで、さらに取り組みや課題点、解決へのプロセスを学ぶことができた。

英語名称（英語版作成用）

団体名	The Lake Biwa University Regional Consortium
事業名	Regional Problem-Based Learning (PBL) Program for International Students